

白根市を世界一の農業都市に

— 中学生と市長の話し合い

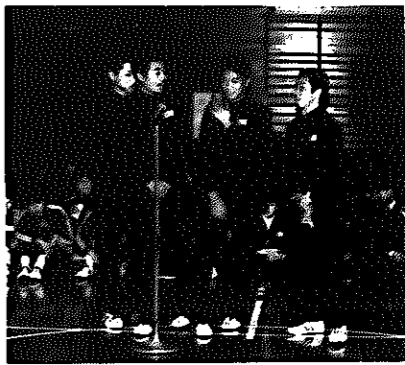
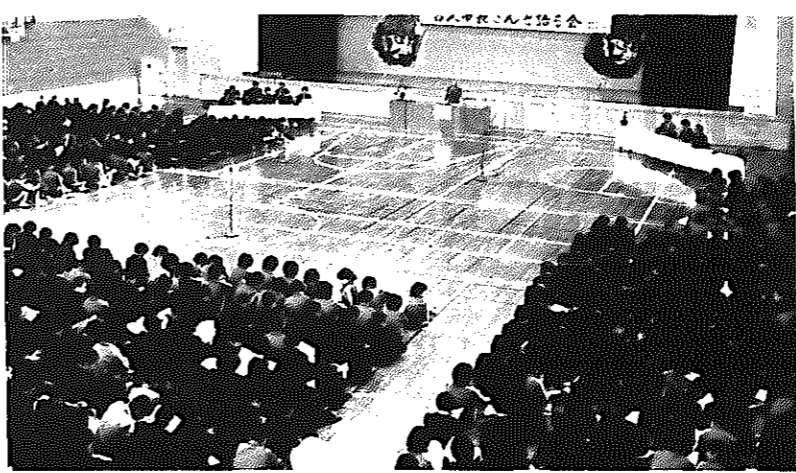
先日号の『大通小学校児童と市長の話し合い』に続き、今回は『第一中学校の全校生徒との話し合い』で出された意見、アイデアを紹介いたします。さすが中学生ともなると、全市の視野に立っての発言が多かったです。

もっと農業に力を入れ 世界一の農業都市に

■今の白根市の最も重要な産業は農業です。しかし、宅地造成などで田畑がだんだん埋められてきています。これからの白根市は、

もっと農業に力を入れ世界一の農業都市にしたいと思っています。たとえば、最初から宅地できる場所を限定しておき、これ以上農地を減らさない。また、白根高校に農業科を設置する、農業大学を設置するなど……。市全体で農業に力を入れていけば、農業を離れる人も少なくなり、世界一の農業都市になれると思います。

市長 白根市は、他市町村に比べ農業関係には力を入れています。今、農業関係のいろいろな問題があります。米が余るという問題が調整して、他の作物を作りなさいという施策が進められています。当市の場合には、白根の農業の将来を考えて、もっと早くから、米や野菜など何でも作れる田にしよと、ほ場の整備をやり、しかも水利を良くし、いつでも水を切つて乾田にできるようにと仕事を進めています。ようやくこの事業も全



体の六〇軒を超える仕事が終わりました。この事業ができれば、今でも日本一といわれる白根の農業は、もっと発展することができると考えています。

市独自で農業教育専門の学校を整備することについては、農業高校でもなかなか生徒が集まらない状況から、むずかしいのではないかと。しかし、将来、農業が見直されてみんな喜んで農業をやり、そして農業教育も見直される時期がくるかもしれない。私はそれを期待したい。

お年寄りのためのボランティアを増やして

■今は高齢化社会で、市内にも一人暮らしや寝たきりのお年寄り

が多くいると思います。ぜひ、お年寄りのためのボランティアを増やしてください。

市長 ボランティアというのは、市が金を出してボランティア活動をやってくれとか、金は出すが口を出すというのでは、本当のボランティア活動ではないと思います。すでにみなさんの中にもボランティア活動をやっている人は多いと思います。本当の意味のボランティア活動を推奨していきたいと思っています。

現在、市内で寝たきりのお年寄りは九十八人、一人暮らしのお年寄りが百二十二人います。今、こういう人たちに声をかけてくださいという運動をお願いしています。みなさん、大いにボランティア精



神を発揮し、温かい手を差し伸べてやってください。

工場を一か所に集め工業地域と住宅地域の区別を

■現在、白根市にはいくつもの工場がありますが、これらを一か所に集め、工業地域と住宅地域に分ける。こうすれば、公害などの問題もなくなると思います。

市長 市では今、土地利用計画を再検討し、新しい土地利用計画を来年度には完成したいと、その事務作業を進めています。

工業団地については、すでに和泉にあります。ここはもう満杯の状態です。そこで、現在検討している土地利用計画の中で、新しく三十〜四十軒くらいの工業団地を指定して、そこへ、将来みなさんが白根市に残る場合に、勤めようと思っている人は勤められるような、立派な企業を誘致したいという考えで取り組んでいます。

このほか総合体育施設、学校施設、白根まつり、新飯田中学校との統合問題など、たくさんの方の意見が寄せられました。

この冬の除雪計画

市民総ぐるみで 雪を克服しましょう



この冬の除雪計画がまとまりました。市道の除雪距離数は百九十八・六キロ、路線にして五百四十二路線です。市では、雪からみなさんの生活の足を確保するために、万全の体制を整えています。でも、どんなに機動力を充実させても、みなさんの協力がなければ、その力を百パーセント発揮することはできません。市民総ぐるみで雪を克服していきましょう。

市道の七割が 除雪計画路線

この冬の市道の除雪計画延長は、昨年より六・八キロ増やし百九十八・六キロ増となっています。市道の総延長が二百八十七・七キロですから、全体の六九割が除雪計画路線となります。

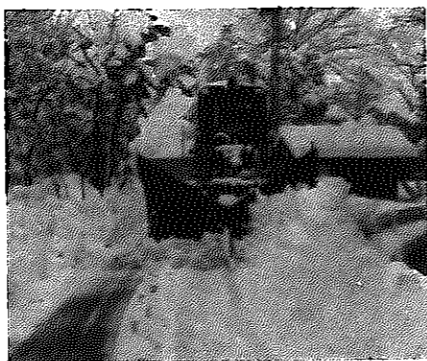
このため、市では市と委託業者

の除雪車約四十台で、より早くきめ細かな除雪を進めます。除雪作業は、雪の降り方によって違いますが通勤、通学などによる車の交通量や道路構造などを十分に考え、二車線を確保する道路や一車線確保の道路など三区区分し、午前三時から実施します。

路上駐車は除雪作業の支障となります

除雪は、機械力がいくら整備されても、また国・県・市だけでできるものではありません。市民のみなさんの協力がなければ、雪を克服することはできません。スムーズに除雪をするために、次のことを守ってください。

■冬期間の路上駐車はやめて—道路に一台でも車があると、そこから先は除雪できません。冬期間



(十二月十五日から三月十五日まで)は、駐車禁止の道路が増やされます。標識をよく見て、昼夜を問わず自動車の路上駐車・路上放置は絶対にしないでください。

■除雪した道路に雪を捨てないで—車や歩行者の通行に迷惑がかかるだけでなく、スリップしたり大変危険です。

■屋根の雪おろしはいつせいに—町内会長や部落長を通じて、雪おろしはいつせいにやってください。単独で行う場合は、交通の妨害とならないように各自で処理を。

■避難口の確保を—せつかく雪おろしをしても、家の出入口がふさがっては困ります。二か所以上の避難口を確保しましょう。

■除雪作業中の機械に近づかないで—除雪作業中は大変危険ですので、機械には絶対に近寄らないでください。

市道除雪のお問い合わせは

昼夜を問わず、市除雪本部(☎②一〇四九)へどうぞ。